

あなたと
議会を
つなぐ情報誌

大網白里 議会だより

第189号

発行 大網白里市議会
〒299-3292
大網白里市大網115番地2
電話 0475 (70) 0390
発行人 大網白里市議会議長
小金井 勉



桜花らんまん

主な内容

- 【予算特別委員会レポート】議会からの検討改善事項 2
- 【常任委員会レポート】委員会の審議内容を紹介 3
- 【市政に対する一般質問】4会派11人 個人4人が登壇! ... 4~7
- 採決結果一覧、議会日誌 8

令和5年度2月補正予算一覧表

(単位:千円)

議案番号	会計名	補正額	補正後予算額
議案第1号	一般会計(第8号)	565,401	17,598,942
議案第2号	特別会計	国民健康保険特別会計(第2号)	1,021 5,416,347
議案第3号		後期高齢者医療特別会計(第1号)	△152 747,478
議案第4号		介護保険特別会計(第2号)	12,220 4,859,924
議案第5号		土地区画整理事業特別会計(第1号)	0 129,069
議案第6号		ガス事業会計(第2号)	3条 事業収益
	3条 事業費用		3,235 772,397
	4条 資本的収入		0 53,802
	4条 資本的支出		1,090 180,871
議案第7号	企業会計 病院事業会計(第2号)	3条 事業収益	35,661 2,700,447
		3条 事業費用	41,300 2,699,008
		4条 資本的収入	△14,064 94,189
		4条 資本的支出	△14,614 187,878
議案第8号	下水道事業会計(第1号)	3条 事業収益	△1,314 1,644,053
		3条 事業費用	△7,409 1,586,992
		4条 資本的収入	△4,127 425,825
		4条 資本的支出	5,179 703,080

主な議案等の内容

議案第18号 大網白里市ガス事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 ≪概要≫ 条例で定める供給戸数について、令和6年度中に超える見込みであることに伴う改正

議案第29号 大網白里市企業版ふるさと納税基金条例の制定について
 ≪概要≫ 企業版ふるさと納税による寄附金を活用し地域再生法に規定する事業を推進するため、基金を設置しようとするもの

議案第33号 財産の取得について
 ≪概要≫ 令和6年度から小学校の教科書が改訂されることに伴い教師が使用する指導書等を購入するとともに、画像・音声・動画等の教材を授業に活用するための指導者用デジタル教科書を併せて購入するもの 契約金額2,218万1,757円 株式会社 多田屋

今定例会は、2月20日から3月19日までの29日間の会期で開催され、市長から議案33件の提出と請願4件、陳情8件の審査を行いました。
 結果、すべて原案のとおり可決・同意、請願3件を採択、残り1件を不採択、陳情1件を採択、6件を不採択、残る1件を継続審査としました。
 一般質問は2日間行われ、会派代表質問4会派11人、個人質問4人の議員がそれぞれ登壇、市政のあり方について質問や提言を行いました。
 また、最終日に意見書提出の委員会発議案1件の提出があり、これを可決。併せて市選挙管理委員および補充員の選挙を執行しました。なお、当選者は左記のとおりです。

令和6年

第1回定例会が開催されました



主な補正内容

- 低所得世帯支援給付金事業…約1億6,551万円の増額
物価高騰による家計への影響が特に大きい低所得世帯に対し給付金を支給
- ふるさと応援寄附金促進費…8,700万円の増額
ふるさと応援寄附金の増加に伴う必要経費を増額
- 保育所等における性被害防止対策費…約168万円の増額
防犯カメラやパーテーション等の設置に係る経費を計上

○選挙結果
 選挙管理委員(敬称略)
 星見和子
 加藤利幸
 中村利幸
 加藤利幸
 片岡茂一
 高田静栄
 片岡静弘
 第三位 今井静子
 第四位 今井静子

選挙管理委員および補充員の選挙を執行しました

予算特別委員会 審査レポート



用語解説

予算特別委員会は、市民の皆さんのよりよい生活のため、予算がどのように使われるのか等を詳しく審査するために特別に設置される委員会です。



令和6年度一般会計歳入歳出予算の概要

※わかりやすくするため端数を四捨五入処理していますので、実際の予算額とは厳密には一致しません。

歳 入		歳 出	
() 内は前年度比		() 内は前年度比	
■市 税	48億4,584万円 (△2億619万円) …個人市民税、固定資産税など	■民生費	66億7,431万円 (+2億6,590万円)
■地方譲与税	1億9,003万円 (△51万円)	■衛生費	16億2,265万円 (△798万円)
■地方交付税	39億4,700万円 (+1億6,700万円)	■農林水産業費	5億3,333万円 (+7,678万円)
■使用料及び手数料	2億3,604万円 (+839万円)	■土木費	11億5,943万円 (△3,350万円)
■寄附金	6億5,100万円 (+1億5,000万円)	■教育費	15億9,586万円 (+4,449万円)
■市 債	6億7,020万円 (+1,180万円)	■公債費	15億1,774万円 (△347万円)
■その他	58億4,989万円	■その他	32億8,668万円
歳入合計	163億9,000万円 (+4億1,000万円)	歳出合計	163億9,000万円 (+4億1,000万円)

令和6年度予算案を可決！

一般会計の歳入歳出予算額は約164億円

予算特別委員会は、3月7日、8日および11日の3日間で開催され、令和6年度の一般会計予算などについて各担当課からの説明を聴取り、その内容を審査しました。

その結果、一般会計予算ほか3つの特別会計予算と3つの企業会計予算のすべてについて、原案可決としました。

予算特別委員会では、市執行部に対して次の検討改善事項を示した上で、厳しい財政状況の中にあっても市民が安心して安全に暮らせるよう「住みたい・住み続けたいまち」の実現のため、慎重かつ大胆な予算編成と的確な予算執行を強く要望し、審査報告としました。

検討改善事項

- 財政課
 - ①財政健全化に向けて、継続して実効性のある緊急的な取り組みをされたい。
 - ②適正な入札執行に努められたい。
 - ③公営企業と連携し、企業会計への繰出金を縮減するための取り組みを検討・研究されたい。

- 秘書広報課
 - ①広報紙の配布について、実態を把握し経費節減の方策を検討されたい。
 - ②行政情報の発信については、SNS等を活用し内容を充実されたい。
- 総務課
 - ①職員のメンタルヘルスも含めて、健康管理に努められたい。
 - ②効率的な事務事業の確立に向け、ワークスタイルの改善や新たな手法の導入など検討されたい。
- 選挙管理委員会
 - ①期日前投票も含め、投票率の向上に努められたい。
- 企画政策課
 - ①地域交流拠点整備については、専門的な知見を含め幅広く丁寧に意見を聴取するとともに、慎重に取り組まれたい。
 - ②各公共交通機関と連携し、利便性の高い地域交通の確立を推進されたい。
 - ③自主財源確保のため、積極的な企業誘致を推進されたい。
- 安全対策課
 - ①市民の安心安全の確保のため、防災・減災・防犯にかかる施設整備に努められたい。
 - ②消防団員の確保及び自主防災組織の連携強化を図られたい。

特別会計及び企業会計の予算額

(単位：千円)

区 分		予算額	前年度比	
特別会計	国民健康保険特別会計	5,296,479	△116,647	
	後期高齢者医療特別会計	793,066	45,436	
	介護保険特別会計	4,705,121	122,632	
	土地区画整理事業特別会計(※)	0	△129,069	
企業会計	ガス事業会計	3条 事業収益	780,461	5,827
		3条 事業費用	780,274	11,112
		4条 資本的収入	95,923	42,121
		4条 資本的支出	222,210	42,429
	病院事業会計	3条 事業収益	2,776,515	111,729
		3条 事業費用	2,772,379	114,671
		4条 資本的収入	226,153	117,900
		4条 資本的支出	303,011	100,519
	下水道事業会計	3条 事業収益	1,628,921	△16,446
		3条 事業費用	1,552,232	△42,169
		4条 資本的収入	500,355	70,403
		4条 資本的支出	754,191	56,290

※土地区画整理事業特別会計は、議案第27号が可決となったことにより同会計を廃止する条例が施行され、令和5年度をもって廃止となりました。

- 地域づくり課
 - ①東金市外三市町清掃組合のあり方について、新施設建設を踏まえ、将来の方向性を見定め費用対効果を考慮した協議を進められたい。
 - ②市有バスについて、適正かつ有効な利用を促進されたい。
 - ③リサイクルを促進することにより、資源の大切さを啓発するとともに、新しい施策を研究するなど、廃棄物の減量化と自主財源の確保に努められたい。
- 社会福祉課
 - ①子育て世代の多様なニーズに応えるため、子育て交流センター及び子育て支援館を有効活用されたい。
 - ②障がい者、また、生活保護受給者を含めた生活困窮者の自立支援に鋭意取り組まれたい。
- 子育て支援課
 - ①子育て世代の多様なニーズに応えるため、子育て交流センター及び子育て支援館を有効活用されたい。
- 商工観光課
 - ①白里海岸や小中池公園の魅力について、子どもたちの未来を守るため虐待やDV対策に引き続き尽力されたい。
 - ②引き続き、保育士の待遇改善に努められたい。
- 健康増進課
 - ①がん検診などの各種検診の未受診者への勧奨及び受診後の再検査の勧奨に努め、早期発見・早期治療につなげられたい。
 - ②各種健康診断を様々な手法でアピールし、医療費の削減に努められたい。
 - ③不妊治療助成の周知に努められたい。
 - ④産後ケアの充実にも努められたい。
- 農業振興課
 - ①新規就農者への積極的な情報の発信に努め、移住・定住施策に繋がるような農業づくりを推進されたい。
 - ②有害鳥獣対策に関しては、猟友会等との連携の下、特にイノシシについては、人的被害が出ないよう早急に強化されたい。
 - ③地域の農業の在り方や農地利用の姿を明確化した地域計画の策定に必要な取り組みをされたい。
- 都市整備課
 - ①小中池公園について、本市の観光拠点となるよう整備を検討されたい。
 - ②大網駅南地区のまちづくりについては、慎重に取り組まれたい。
 - ③開発審査に当たっては、丁寧で親身な対応を心がけられたい。
- 下水道課
 - ①公共下水道の整備については、社会情勢等を勘案し、実現可能な計画に見直しをされたい。
- 国保大網病院
 - ①情報発信と病院サービスの向上に努められたい。
 - ②とともに、病院機能の強化と早期の経営健全化に期待する。
- ガス事業課
 - ①引き続きガスの安定供給に努め、計画的な経年管工事を進められたい。
 - ②市営ガスは全国トップクラスの安価な料金であるので、積極的なPRに努められたい。
- 教育委員会管理課
 - ①引き続き学習環境の改善に努められたい。
 - ②教育施設、財産の適正な管理に努められたい。
- 教育委員会生涯学習課
 - ①デジタル博物館のPRの推進に努められたい。
- 文化財・史跡の情報発信・保護に努められたい。
- ③各社会教育施設等の総合的な施設維持管理計画を検討されたい。

委員長	土屋 忠
副委員長	黒須 俊
委員	猪崎 人
委員	北代 利
委員	上田 宏
委員	森田 彦
委員	小倉 昭

●建設課

- ①生活道路及び排水路の整備に関しては、緊急性、必要性を見極め整備を進められたい。
- ②浸水対策の要となる金谷川河川改修工事は、早期の完成に努められたい。
- ③小中池河川改修工事の推進に努められたい。

●都市整備課

- ①小中池公園について、本市の観光拠点となるよう整備を検討されたい。

●下水道課

- ①公共下水道の整備については、社会情勢等を勘案し、実現可能な計画に見直しをされたい。

●国保大網病院

- ①情報発信と病院サービスの向上に努められたい。
- ②とともに、病院機能の強化と早期の経営健全化に期待する。

●ガス事業課

- ①引き続きガスの安定供給に努め、計画的な経年管工事を進められたい。
- ②市営ガスは全国トップクラスの安価な料金であるので、積極的なPRに努められたい。

●教育委員会管理課

- ①引き続き学習環境の改善に努められたい。
- ②教育施設、財産の適正な管理に努められたい。

●教育委員会生涯学習課

- ①デジタル博物館のPRの推進に努められたい。

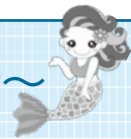
●文化財・史跡の情報発信・保護に努められたい。

③各社会教育施設等の総合的な施設維持管理計画を検討されたい。

●農業委員会

- ①引き続き農業委員及び農地利用最適化推進委員と連携し、遊休農地の解消に努め、農地利用の適正化に取り組まれたい。

常任委員会審査レポート ~各委員会に付託された議案・請願・陳情~



議 会 運営委員会

議会運営委員会を3月4日に開催、陳情2件を審査し、1件を不採択、残る1件を継続審査としました。

●陳情第3号 「陳情書」 郵送提出分対応方法の変更に関する陳情 結果：不採択

こんな意見がありました

●陳情は持参する行動で意思を示して欲しい。郵便や電子メールでは、陳情が非常に安易になってしまう。

●過去に郵送提出された陳情は本市と直接関係ないものが多く、市議会はそのために仕事をすべきで、全て認め判断するのは現実的ではない。

●問題意識を持った方がきちんと説明をするために持参したものを優先して扱った方がよい。

●陳情第6号 自治体の重要な政治的意思決定に関与し、広範な裁量権を持っている市議会議員と関わりのある企業が、本市の公共事業を受注する事を制限するための条例である、政治倫理条例を制定してもらうための陳情 結果：継続審査

こんな意見がありました

●今後議論を深めていかなければならないという意味で、継続が良い。
●具体的な内容を十分協議すべきだと思うので、継続審査が良い。
●みんなでもう1回考えながら進めていった方がよい。
●結論を出すには拙速ではないか。

- 委員長 北田 宏彦
- 副委員長 上代 和利
- 委員 土屋 忠和
- 委員 森屋 建和
- 委員 小倉 利昭
- 委員 岡田 憲二

総 務 常任委員会

総務常任委員会を3月4日に開催し、付託された議案3件と請願1件および陳情3件の審査を行いました。

●議案8件については、いずれも賛成総員により原案可決とし、請願1件および陳情3件は賛成少数により不採択としました。

こんな意見がありました

●議案第20号 大網白里市企業等誘致条例の一部を改正する条例の制定について 結果：原案可決
概要 雇用促進奨励金創設および指定基準緩和等を行うもの

こんな質疑がありました

問 10万円の雇用奨励金とあるが、県内他市の状況は。
答 33団体のうち雇用奨励金を10万円とする団体が13団体である。

問 新規雇用者とは正社員でなくとも該当するか。
答 正規雇用者のみ対象となる。

●請願第4号 豪雨による減災対策を求める請願 結果：不採択

こんな意見がありました

●大竹地区だけでなく同様の被害地区を含めた対策を求める声である。
●浸水被害は議会として非常に重く受けとめ、9月議会で決議し、市も事業進捗を積極的に推進している。

●令和5年陳情第10号 市長や副市長、教育長等、自治体の重要な政治的意思決定に関与し、広範な裁量権を持っている役職の者等と関わりのある企業が、本市の公共事業を受注する事を制限するための条例である、政治倫理条例を制定してもらうための陳情 結果：不採択

こんな意見がありました

●大きな権限を持つ特別職に対して、政治倫

- 委員長 土屋 忠和
- 副委員長 黒須 俊隆
- 委員 齊藤 完人
- 委員 猪崎 紀人
- 委員 上代 和利
- 委員 北田 宏彦



文教福祉 常任委員会

文教福祉常任委員会を3月5日に開催し、付託された議案5件と請願1件、陳情2件の審査を行いました。

●議案4件と陳情1件は賛成総員により、残る議案1件と請願1件および陳情1件は、賛成多数により原案可決または採択としました。

こんな意見がありました

●十分実現可能性があるのでは。
●毎年永田駅の東口改札の設置やバリアフリー化などは要望し続けており、市としては十分認識はしている。

こんな質疑がありました

●陳情第7号 市民の生活を守るために、道の駅を造る事を中止してもらうための陳情 結果：不採択
●総合計画において掲げられ、検討委員会でも現在議論されているので、中止することには反対したい。

●議案第23号 大網白里市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について 結果：原案可決
概要 令和6年度からの3か年計画である第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に合わせた保険料の改定等を行うもの

●議案第30号 大網白里市学童保育室の設置及び管理に関する条例の制定について 結果：原案可決
概要 公設の学童保育室の管理運営に指定管理者制度を導入するため条例を制定しようとするもの

こんな質疑がありました

問 学童保育室の管理を指定管理にする理由は。
答 民間事業者ノウハウで、サービス向上を図ることが目的。
問 民間委託すると、指導員の待遇を悪化させることとなるのでは。
答 基準要領を示し、提出のあった事業計画を評価する中で対応したい。

●請願第1号 アスベスト建材製造企業の基金拠出等「特定石綿被害建設業務労働者等に

こんな意見がありました

に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める国への意見書を求める請願 結果：採択

産業建設 常任委員会

産業建設常任委員会を3月6日に開催し、付託議案2件、請願2件および陳情1件の審査を行いました。

●陳情2件と請願2件はいずれも賛成総員により原案可決、残る陳情1件は賛成者がなく不採択としました。

こんな意見がありました

●現在、地元のものをつのくりに使っているのか把握した上で、具体的な話をした方がよい。

こんな質疑がありました

●議案第21号 大網白里市都市公園設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 結果：原案可決
概要 防災第1号公園の面積変更に伴う所要の改正

●陳情第5号 ケーヨーデイツー大網永田店環境交差点設置についての陳情 結果：不採択

●現地確認したが、交通量も多くなく、物理的に環境交差点を造るには小さすぎるのではないかと。
●現場を見て、環境交差点より信号機の方が安全、安心が高まると思う。

こんな意見がありました

●地元産野菜をより多く使うのは、市内農家にとって喜ばしく、産業育成上でも必要なことだと思う。
●子育て世代が大変な思いをしているのも事実であり、補助額を増やし保護者負担の軽減をするのも大事。

●区内道路は碎石を敷いた仮設みたいなものであり、毎年市から砂利等をもらい区で整備していることから、早急に市で整備した

こんな意見がありました

方がよい。

- 委員長 小倉 利昭
- 副委員長 引間 真理子
- 委員 高野 祐二
- 委員 石野 登志男
- 委員 田辺 正弘

●現場確認した中で、住民の声に沿った舗装された道路になれば良いというふうに思っている。
●請願第3号 豪雨等被災者に対する水道使用料料減免を求める請願 結果：採択

●家の中まで入った泥を掃除するのに結構水道を使うと思うので、提出者の気持ちはよく分かる。
●大竹地区と一緒に片付けをしたが、毎回起こる浸水被害ということで承知しており大いに賛成したい。

こんな意見がありました

●地元産野菜をより多く使うのは、市内農家にとって喜ばしく、産業育成上でも必要なことだと思う。
●子育て世代が大変な思いをしているのも事実であり、補助額を増やし保護者負担の軽減をするのも大事。

- 委員長 森 建二
- 副委員長 輪島 美津江
- 委員 金森 浩二
- 委員 佐久間 久良
- 委員 宮間 文夫
- 委員 岡田 憲二

会派代表質問

自 民

安心安全で暮らしやすいまち・
未来に夢のある大網白里をめざして

小倉利昭 議員



問 本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震に対する支援について伺います。千葉県は地震発生からこれまでの間、どのような支援をしてきたのか。

答 1月4日に防災危機管理部職員3名を先遣隊として派遣して以降、2月19日時点で、千葉県職員225名、市町村職員184名が避難所運営や住家被害認定調査、医療、保健活動、給水活動などに当たっております。

問 2つ目の質問として、本市では独自の支援は行ったのか。

答 これまでに、千葉県より応援派遣要請がありましたことから、5日間、市職員2名を派遣しました。

また、災害支援ナースとして、国保大網病院に勤務する看護師1名を4日間、穴水町に派遣しました。

問 次に農業振興について、「人・農地プラン」とはどのようなものか、そして「地域計画」へどのような変わったか。

答 はじめに、人・農地プランは、地域農業における中心となる経営体や地域における農業の将来の在り方など、農業者のアンケート調査や話し合いを通じて現況把握等を行い、地域の担い手等への農地集積、集約化など、目指すべき将来の農地利用の方針を示したものでございます。

地域計画は、人・農地プランにおける農地の集約化等に向けた取り組みを加速化するため令和5年4月に農業経営基盤強化促進法の改正が行われ、農地各筆ごとに今後の耕作意向を踏まえ目指すべき農地利用の在り方を目標地図として作成するなど、より具体的に将来の農地利用の方向性を定める計画となっております。

問 では、この地域計画が本市ではどのように進んでいるのか。

答 現在、市では地域計画策定に向けて、農地所有者を対象として、おおむね5年から10年後の農地利用の意向に関するアンケート調査を市内6地区に分けて順次実施し、アンケート集計が終了した地区においては、地域計画策定に向けた協議を開始したところでございます。

今後は順次アンケート結果を基に農地所有者や担い手となる農業者と市、千葉県、農業委員会のほか、土地改良区、農業協同組合などの農業関係機関による座談会等の話し合いを行い、地域の課題や地域内の農業の担い手などを反映させた目指すべき将来の農地利用の姿を明確化した目標地図を含めた地域計画の策定を進めてまいります。

問 次に、スマート農業の概要と、本市の進捗状況はどうか。

答 スマート農業は、ロボット技術や情報通信技術、ICTを活用して省力化、精密化や高品質生産の実現等を推進している新たな農業への取り組みでございます。

本市の農業者によるスマート農業への導入状況といたしましては、施設園芸用ハウス内の温度調整などの栽培環境の最適化による収量、品質の安定を図る環境モニタリング装置やドローンによる農薬、肥料散布などに取り組んでおります。

市といたしましては、今後も引き続き導入を検討されている農業者へ必要な情報提供や情報共有した上で、スマート農業導入に係る国・県の補助事業の活用支援策など、普及推進に努めてまいります。

関連質問

金森浩二議員



私は会派自民の金森浩二と申します。宜しくお願致します。

問 路線バスの維持確保について維持確保についてどのような施策を行なっているのかお答えください。

答 市では事業者へ支援金の交付や学生への通学定期の一部補助等、利用促進に取り組んでいる状況です。

問 公共交通の確保について

みずほ台を含む瑞穂地区全体に公共交通が無いという現状をどう捉え、展望をお聞かせください。

答 現在、市内で交通空白地域となっているのが、瑞穂地区、大網地区、山辺地区であり、地域の実情に合った公共交通の在り方を地域公共交通活性化協議会で検討しております。

問 高齢者の外出支援事業について

高齢者の外出、買い物支援として現在の対応を教えてください。

答 NPO法人による要介護、要支援者の福祉有償運送やボランティア主体の移動サービスの他、医療法人の送迎バスがあります。

買い物支援は、3事業所が40か所で移動販売を行っております。

関連質問

齊藤完育議員



問 本市における病児・病後児保育の現状について伺います。

答 病児保育は、現在のところ、市内で行っている施設はありません。病後児保育施設につきましては、市内の保育園で実施しております。

問 病児・病後児保育につきまして、今後の見通しをお聞かせください。

答 病児・病後児保育につきましては、保護者が安心して子育てできる環境整備を図る上で大変重要な施策の1つであると認識しております。

病児・病後児保育の市民ニーズが高まりつつある現状も踏まえ、助成金や補助金などの支援方法について検討してまいりたいと考えております。

税収に占める個人市民税の比率が高い本市において、人口増加、少なくとも現状の維持を目指していくためには生産年齢人口の移住・定住が必要で、受け入れてから考える、場当たりの対応策を考えるのではなく、逆算思考で目標達成を考えPDCAサイクルを見直しながら課題をクリアしていきたいと考えます。

※このほか、待機児童に関する質問を致しました。

関連質問

土屋忠和議員



○南今泉南部緑地広場の公園化について質問を致しました。中央海岸の海辺の散歩から途中寄れてブランコや滑り台等を利用し、子ども達が遊び、憩える空間が必要と考えます。



南今泉南部緑地広場公園化のイメージ図

○白里海水浴場監視塔新設について質問を致しました。子ども達、若人からお年寄りまで心を癒す魅力あるシンボルを再建したい。私の願い！



新設された場合の白里海水浴場監視塔のイメージ図

個人質問

農業者が20年で3分の1に激減
地域課題解消は有機農業にある

日本共産党

佐久間久良 議員



日本の食と農業が深刻な状況である。昨年末のNHKスペシャル「食の防衛線」は、生産が危機的状態となり、食の安定供給を崩している現実をリアルに描き注目を集めた。

三菱総研は、農家の激減で現在自給できている米も2040年には156万トン供給不足になると推計。主食の米でさえ国民に届かなくなる危険を浮き彫りにしている。

問 農業従事者の人数および経営の个体数をお答えいただけますか。

答 本市の農業従事者数は、2000年が4,684人、05年3,325人、10年2,754人、15年2,095人、20年1,495人。

次に、農業経営体数は、2000年が1,677、05年が1,214、10年が1,025、15年が858、20年が645経営体です。

問 かなりの規模で減っている。営農相談など行っているのか。

答 新規就農者や希望者に対し、農業経験の有無、就農の動機、希望品目や経営規模など把握し、必要な情報を提供しています。認定新規就農者の営農計画作成等について、関係機関と連携して助言や営農計画の作成支援を合同でサポートチームを編成し、必要な指導・助言等を行うなど各種支援を行っている状況です。

問 「日本農業新聞」で、一見すると農業と無関係な地域課題の解決に有機農業が役立っているとの見解がある。その地域課題の一つの人口減少を例に、都会に住む若い世代は地方への移住を考えている人は多い。彼らは自分で食べる野菜、そして米を自分で作りたいと思っているから有機農業に関心が高い。そんな若い人たちを呼び込もうと、移住対策として

有機農業を取り入れる自治体が多くなった。

学校給食で、地元産の有機農産物を取り入れる有機給食は、市町村がやる気になれば実現できる。我がまちは子ども健康と食を大事にしているというアピールでもあるし、イメージアップにも貢献する。

日本の農業や食の大切さを子どもたちに伝えていかなければと思うが、教育長の考えをうかがいたい。

教育長 有機農業は、環境に配慮した栽培法で、土壌環境や生物の多様性など生態系を守るとともに、健康によい食品の生産、流通、消費など理解を深め、食品を選択する力や食べ物を大切に育む食育の視点からも意義のあるものです。

価格が抑えられ、必要量を確保できるのであれば、学校給食に検討できるが、現状ではこれらの課題があることから、現時点で導入は考えておりません。

学校給食は、地産地消の観点から市内の農家で作った米や野菜等を活用したいと考えています。

いすみ市は、有機農産物を学校給食に取り入れたことで、有機農業者がゼロから4年間で産地を形成するまでに至った。そして新規就農希望者の増加等がみられた。

有機農業は、市がやる気になればいくらでもできる状況だと思われ、もう一つは価格保証がやはり必要。だからいすみ市では有機米を価格保証として、一俵当たり一万一千円の米を付加価値を付け、2万円とし、全量を仕入れた。

支援事業を補助金等も使って農業振興を広めていただきたい。

会派代表質問

未来へつなぐ住みたい街づくりを目指して

公明党

引間 真理子 議員



問 子宮頸がんキャッチアップ接種について、無料で受けられる期限内に接種するには9月までに1回目を打つ必要があり、その周知について平成25年6月から令和4年3月までに接種の機会を逃した方については、公平な接種機会を提供するための周知として、対象者全員に個別に案内文を送付しております。

問 がん患者アピアランスケア支援事業について

答 アピアランスとは、外見を示す言葉で、千葉県ではがん治療に伴い、医療用補整具、医療用ウィッグ等の補助を行っております。外見の変化を補い、患者さんの苦痛を軽減し、社会参加を後押しする手助けになります。治療と仕事の両立、社会生活を送っていく上で極めて重要なケアで、患者に寄り添った支援が必要です。

答 アピアランスケアにつきましては治療の過程において、患者さんが負った心理的、経済的な負担の軽減と社会参加や生活の質の向上を図るもので、患者さんにとって自分らしく、生活を送るための一助になるものと認識しております。今後、アピアランスケアに関連する助成内容等につきましては、先進例や近隣自治体の動向を注視しながら検討してまいりますと考えております。

問 救急相談電話の周知について、#7119は消防職員ではなく医療や看護師、トレーニングを受けた相談員が対応し、緊急性の判断や応急処置、受診のタイミングを助言し、要望に応じて医療機関の案内をするそうです。軽症者の救急車利用を抑え、重症者へ優先的に回す狙いもあり、救急車が不要に出勤する機会が減り、適切な利用につながります。

引間 真理子 議員



問 積極的な周知が必要だと思えます。市といたしましてはこの救急安心電話相談について市ホームページ、広報紙、大網病院でのチラシ配布、ふれあいいきいきサロンでの講話などを通じ救急車の適正利用を呼びかけてまいりたいと考えております。

問 3歳児の法定健診以降、就学時健診までは健診がないので、5歳児健診の実施は必要だと思えます。

答 5歳児健康診査は、発達の問題が認知される時期である5歳児を対象として、身体発育状況や精神発達の状態、生活習慣の自立や社会性の発達などを確認する健診として、こども家庭庁が、実施マニュアルを作成する予定となっております。参考として医師会など関係医療機関と連携して検討してまいりたいと考えております。

問 児童虐待の現状と課題について

答 相談、通報で虐待に関する件数令和3年度が69件、令和4年度が76件、令和5年度1月末現在62件、内容は暴言や差別的扱い等の心理的虐待が25件と一番多く、続いて、身体的虐待のおそれがあるケースが24件、育児放棄などのネグレクトが10件、性的虐待が3件となっております。こども家庭相談室を設置、地域協議会において、課題や支援方法の検討、関係機関が役割に合った対応が取れるよう調整を行っております。

その他、幼稚園、保育所に通っていない未就園児の把握について、児童虐待防止への連携強化と、今後の取組について、コロナワクチンの定期接種、接種費用の補助について、在住外国人への防災情報周知について質問いたしました。

関連質問

上代和利 議員



問 福祉避難所について

答 福祉避難所は、高齢者や障がい者、乳幼児その他の特に配慮を要する方など「要配慮者」を滞在させる避難所です。市の災害時における福祉避難所については、中央公民館、保健文化センター、大網白里アリーナ、中部コミュニティセンター、白里公民館、県立大網白里特別支援学校の6つの施設等を指定をしている他、高齢者施設などの23施設と福祉避難所の協定を締結しています。

問 災害時における福祉避難所の重要性を強く認識し、今後も関係課と連携し、必要に応じて関係施設との協定など、福祉避難所の確保に努めていきたいと考えています。

問 ライフライン(水、電気、ガス)の緊急時対応について

答 市では災害によりライフラインが寸断された場合に備え、食料や水などの他に、発電機やプロパンガスなどを備蓄しています。数に限りがあることから、市民それぞれが自身に必要なものや食料、水などを蓄えていただくようお願いしているところです。ライフラインの復旧対策については、長期停電における対応策として、東京電力の連絡調整員を通じ、情報共有を密にし、迅速な復旧作業に努める他、停電の原因となる倒木の発生を未然に防ぐため、市道沿い市有地の伐採を行うこととしております。これらのライフラインの復旧に当たっては、発災直後から応急活動を迅速かつ的確に行えるよう市内外の複数の関連事業者と災害協定を締結するなど、早期復旧が図られるよう体制整備に努めています。

その他、防災・減災対策で2問、空き家対策について、農業振興についてを質問させていただきました。

関連質問

輪島美津江 議員



問 防災・減災対策について

問 本年、元日の能登半島地震は私達に大きな衝撃をもたらしました。昨年9月には、本市でも記録的大雨による多大な被害がありました。そこで、避難所における生活環境の確保と整備について伺います。

答 避難所運営に係る物資の備蓄状況は、床に敷くロールマット1メートル×20メートルが250本、間仕切りテントは高さ120センチメートルが100張、高さ180センチメートルが70張で、災害時におけるトイレは、備蓄している組立て式仮設トイレ36基、パイプ折り畳み式簡易トイレ45基の他、ユニットハウスの仮設トイレの供給を受ける協定の民間企業と締結するなど、災害時のトイレ確保に努めています。なお、保管場所は、大網白里アリーナの備蓄倉庫や旧大網小学校などに保管しています。

問 避難所の情報入手手段としてWiFi状況や携帯電話などの充電手段の確保について伺います。

答 WiFiの整備状況については、整備費の他、インターネット回線が経常的に必要となることから、WiFi機能付き自動販売機を活用した整備を行い、大網白里アリーナや農村ふれあいセンターなど5か所に設置している状況です。

また、災害時には通信会社へ要請する事で携帯電話の充電器やWiFiの提供を受けられる他、一般電話が繋がりにくい状態時の発信のみ優先扱いとなる災害時優先電話を各避難所に整備します。

携帯電話の充電については、各避難所に配備する充電機により充電スペースを設け対応します。

個人質問

津波避難施設整備計画は当初の整備方針を変更し、終了したのか?

黒須 俊隆 議員



問 本市では平成27年、津波避難施設整備計画と津波避難計画を策定した。これに基づいて津波避難施設をこれまで整備してきた。津波避難施設整備計画では、津波避難タワーあるいは築山などの高台を新たに4か所造る計画だったが、2つしかできていない。整備方針はどのようになっているか。

答 現在、残る2か所の高台につきましては、市の財政状況等を勘案しながら、タワーでの整備とする方針にしたところです。

問 その後、津波避難ビルが2か所整備されている。

津波避難ビルを津波避難タワーの代用とするつもりなのか。

答 プラセル九十九里につきましては平成23年9月に、オーシャンビュー白里ダイヤモンドマンションにつきましては平成24年7月に津波避難ビルの協定を締結しています。そのほか津波避難施設整備計画に基づいて津波避難の施設の整備をしているところがあります。

問 津波避難ビルは残りの2つの高台ができるまでの代用で当面の措置としての位置づけなのか。

答 ダイヤモンドマンション、プラセル九十九里につきましては、東日本大震災後に津波避難ビルとして協定を締結し、平成27年8月に作成した津波避難施設整備計画においても津波避難施設としていることから、市といたしましては、恒常的に利用する津波避難施設として考えております。

問 津波避難施設整備計画では、津波避難ビルのプラセル九十九里とダイヤモンドマンションに加え、新たに造る築山、タワー4か所と合わせ

て6か所の高台で白里地域が半径750メートルの円の中にすべて入るように計画されている。2か所足りない避難困難地域が出てくるのではないかと。南今泉、北今泉地域に整備する予定だった津波避難施設が当面できない中で、ダイヤモンドマンションとプラセル九十九里の位置づけが強化されたことはあるのか。

答 平成27年8月に策定しました津波避難施設整備計画において、特に変更点はございません。

問 6つの高台で計画されていたものが財政難で4つしかできていない。そこで津波避難ビルに手すりをつけるなどを行い、津波避難施設としての位置づけを強化して、当面は4つの施設で避難計画を進める方針に変更になったのではないのか。

答 ダイヤモンドマンションとプラセル九十九里に対しては、手すりや階段等設置した経緯につきまして、避難者が災害時に迅速に避難できるよう、避難しやすき状況を構築するために整備したものです。

残りの2つの高台の整備方針や津波避難ビルの位置づけが変わったわけではありませぬ。

問 残りの津波避難タワーはいつできるのか。10年前の道の駅整備計画は津波対策などの財政負担により中止になった経緯があるが、現在新たに道の駅整備を進めており、津波対策はもう完了したと考えているのではないか。

答 高台の整備につきましては、直ちに整備するのは難しいことと思いますが、方針には変わりはないと思います。建設に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

会派代表質問

財政健全化に向け、企業誘致と子育て支援、観光と防災について

政 真 会

猪崎 紀人 議員



○企業誘致について

問 2年後の令和8年、圏央道の松尾横芝インターより大栄ジャンクション間が開通しますが、物流企業や工場などの企業誘致はありますか？

答 企業誘致には予め産業用地を確保する必要がありますが、市内には企業立地に適した産業用地がありません。また、既成市街地や農用地区域外への積極的な誘致が難しい状況ですが、引き続き圏央道スマートインターチェンジとの効果的な連携により、商業業務機能の導入や産業立地の誘導を図るとともに、本市に進出を希望する企業が早く産業用地を確保できるよう、地域未来投資促進法に基づく土地利用調整制度の活用方法なども調査研究していきます。

問 大網白里市第6次総合計画において「ちば共創都市圏の連携による企業立地の促進に努める」とありますが、ちば共創都市圏の趣旨と進捗状況について、お答えください。

答 ちば共創都市圏は、千葉市と周辺都市が有する様々な資源を結びつけ有効活用し、千葉市を最大限に生かすことで、東京でも地方でも得られない新たな価値観などを周辺都市と共に作り上げるといった趣旨の下、千葉市が周辺都市と連携して各種取組を進めているものです。ちば共創都市圏の主な取組として、企業間マッチングイベントや合同企業説明会の開催などがあり、現在圏域内にある公共施設の共同利用に関するアンケート調査を実施しています。

○子育て支援について
問 人口の増減は財政面でも極めて重要なポイントだと考えます。他の地域から移住を検討する際、子育て支援の充実度合いが問われます。

中でも最近では児童虐待のニュースが多く、自治体の考え方や姿勢などに関心が高まっていますが、本市において虐待が顕在化する前の防止策はどのように取組んでいますか？

答 相談支援体制の充実を図っているほか、広報紙やホームページへの掲載、児童虐待等に関するチラシの区长回覧や情報提供を呼びかけるポットティッシュの配布など、広く市民の皆様への周知に努めています。

問 本市における低年齢児保育の状況はどのようになっていますか？

答 令和6年2月1日現在、ゼロ歳から2歳児の児童数は881人です。ゼロ歳から2歳児の保育を行っている施設は、認可保育所が8施設、地域型保育事業所が7施設、幼稚園型認定こども園が1施設の合計16施設です。一方、ゼロ歳から2歳児の待機児童数は41名です。

○観光行政について
問 本市のインバウンド観光の取組はどのような活動を行っていますか？

答 今年度より、山武、海匝、長生地域の千葉県地域振興事務所および構成市町村にて、九十九里地域市町村連携チーム、観光振興プロジェクトチームを組織し、インバウンド観光について九十九里地域のあらゆる観光資源を取り込んだ観光施策の検討を行っています。

問 圏央道全線開通を前に観光施策はどのように考えていますか？

答 新たな宣伝用ポスターおよびパンフレット作成を予定しています。

○防災について
問 SNSを活用した情報提供は行っていますか？

答 観光協会のホームページ、またインスタグラムを活用しています。

問 避難所の外国人避難者に対する施策はどのように考えていますか？

答 やさしい日本語で掲示物表記やイラストを加えるなど、災害時の状況に応じた工夫に努めます。また、国際交流協会のボランティアへの依頼や県が実施する語学ボランティアの派遣依頼を想定しています。

問 季美の森地区は県道が破壊されれば災害対策本部と寸断されるおそれがあります。万が一孤立した場合、高齢者や障がい者の方たちを始めとする要配慮者の二次避難所の確保にどのようなようにお考えですか？

答 現在6か所の福祉避難所を指定しておりますが、福祉避難所の開設については検討していきたいと考えます。また、特別な配慮を必要とする方の避難所として、民間の高齢者施設など23施設と福祉避難所の協定を締結しておりますが、今後も関係課と連携し、福祉避難所の確保に努めていきます。

問 季美の森の自治会館や公園に防災井戸の設置はできますか？

答 自治会が公園内に防災井戸を設置される場合、条例などに基づき市長の許可を受ければ設置可能です。

関連質問
森 建二 議員

○子育て支援について
問 市内の民間保育所の現場では慢性的な人手不足を聞きます。そんな中、昨年の12月に国から保育士の配置基準の一部を76年ぶりに見直すという発表がありました。

「焼け石に水」とも言われますが、前進でもあります。市の民間保育士の処遇改善の現状は。

答 通常の保育士または保育教諭に対し1人当たり月額2万円を上限として、民間保育施設に対し補助金として交付しています。このほか、1人当たり月額9千円を上限として施設型給付費や地域型保育給付費に計算して給付しています。

問 都市部では、この処遇改善額を高額に設定しています。すると何が起るか。高い給与を求めて保育士が都市部に取られてしまう。財政厳しいわが市では悩ましい問題ですが、保育の質の低下につながりかねません。保育士の配置基準の見直しと併せて、どう理解をされていますか？

答 配置基準につきましては、厚生労働省令、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準により、保育士1人に対し、ゼロ歳児では子ども3人、1・2歳児は6人、3歳児は20人、4・5歳児は30人とされています。市では配置基準を上回り、保育士を配置する場合には、保育士配置改善事業補助金の交付や施設型給付費や地域型保育給付費に加算するなど、保育士の配置改善を推進してまいりました。国は令和5年12月、1歳児の配置基準については6対1から5対1へ、4・5歳児については30対1から25対1へ改善することが示されたところです。

保育の質の観点から有効なものとして認識しますが、保育士の確保はより困難になることを懸念しております。福祉職全般が厳しい労働環境に置かれているのだと思います。今後は需要が増えていく。また配置基準が見直されるといことは、より多くの保育士が必要になるといことと。引き続き保育士の処遇改善に心を配って頂きたい。民間でこども園開園の動きがあるが、受け皿が増える事は有難いこと。財政厳しい折ですが「誰でも保育」の実現に向けて、現場の負担軽減に向けて行政の積極的な関わりをお願いします。

※その他、○観光行政(市観光ホームページの多言語化、デジタル博物館や移住誘致との連携、新世代公共交通の導入について等)、質問・提言を行いました。

個人質問

道の駅整備検討委員会の今後の進め方について

岡田 憲二 議員



問 白里地域の活性化として道の駅をという事で前回議会も承認して計画を進めて来た。途中で道の駅計画が進まなくなった。

当時私も議会で質問した経緯がある。当時の道の駅検討委員会の委員長は副町長であった。副町長にこの道の駅計画に国、県の「補助金等はいくらぐらい出るのか」と複数回聞いておりますが、答弁らしい答弁はなかったがその中で「前回の道の駅基本計画では財政面に問題があったので進まなくなった」と言われていた。従ってこの財政面の課題とは何を指しているのか？

答 平成29年1月に作成した道の駅に関する検討報告書によると、第5次総合計画の後期基本計画における財政収支の見通しとして、令和2年度までに財政調整基金が枯渇するおそれがあり、通常の財政運営も厳しい状況であったため、道の駅の建設に必要な財源の確保が課題となっていたと認識している。

問 8億の計画をされた中で、国の補助金がいくら出るかが一番の関心事だった。道の駅が収益施設である以上、国、県補助金、地方債の発行は大部分において期待ができないため、新規の用地買収、施設建設は中期的な観点から財政上ほぼ不可能なものでなかったのかと私は考えていた。途中で中断して10年が経過したが、この道の駅に関する検討報告書が存在している。この報告書は当時の深井理事を中心に産業振興課、財政課、企画政策課がプロジェクトチームを編成、具体的な整備交渉、整備内容、施設整備費用、運営費用の検討、算出を行うこととしたもので平成29年1月に制作されたもの。

この道の駅検討報告書は非常に分かりやすく構成されており、前回の道の駅計画が進まなかった要因等、詳細に調査、研究、分析を行って、その結果を報告している。また、その後の道の駅についても先の調査報告を基に提案しており、私はこの報告書をまとめ上げたプロジェクトチームの職員を最高の行政マンとして高く評価している。本来の報告書ですと、進まなかった要因の調査をしてその時点で終わりとなるのが、この報告書の秀逸なところは、今後また道の駅の必要性が議論されるその時のことを想定して、その時はいかなることに留意し、その計画、構成等を進めるべきか、その提案を加えた報告書として評価している。最高の行政マンとして評価している理由である。現在議会の承認を得て白里地区の活性化を図るための施設整備として道の駅整備検討委員会が発足、第1回の会合を終えて、これから本格的な議論が進められているところである。私は現在の道の駅整備検討委員会の第2回委員会に平成29年に道の駅検討委員会プロジェクトチームが作成した道の駅検討報告書及び前回の道の駅基本計画を全委員に配布したならば、これからの協議の中で前回の計画が進まなかった理由が分かれます。そして、これからの計画の構成に非常に参考になるこの報告書を第2回の新しい委員全員に配布し、それを参考にこれからの新しい道の駅整備計画を練ってもらえれば良い計画が出来上がると思いがいかか。

答 委員全員に検討報告書、基本計画を配布、内容を説明し、新たな基本構想の参考として検討を進めます。

会派代表質問

「JRの通勤快速大幅減便」 JUSUN

自由民主党の会

北田 宏彦 議員



問 JR千葉支社は、令和6年3月のダイヤ改正に伴い、京葉線経由の通勤快速全便を廃止すると公表した。本市でも通勤・通学の足として多くの市民が利用している。

本市の大きな魅力である都心部への到達性が失われ、生命線を断たれるも同じでないか。

この間、千葉県知事、千葉市長をはじめ多くの首長が懸念や批判の声を上げている。

今年1月、一宮町、茂原市、大網白里市が連名で「令和6年3月ダイヤ改正についての抗議及び要望書」を提出したが、趣旨と成果について伺いたい。

答 朝晩、通勤時間帯の到達性を根本から奪い去るもので、都内への通勤などに鉄道を利用している多くの市民の生活形態を崩壊させるだけでなく、本市の発展の機会を喪失しかねない深刻な問題となることから、通勤快速および快速電車の運行継続を求める要望書を提出した。

結果、異例となるダイヤ改正の見直しを行い京葉線直通上り快速列車2本の運行継続を決定した。

問 本市の一番の魅力である都心部への到達性という優位性を維持するため、どう対応していくのか。

答 引き続き近隣市町と連携し、通勤時間帯の通勤快速および快速電車の復活を含め再検討を求めている。

JRの都心部への到達性、利便性向上に注力して頂きたい。

○有害鳥獣対策について

問 イノシシによる農作物被害が拡大し、農業経営に影響が出ている。被害状況と対策について伺いたい。

また、近隣市町の状況も伺いたい。

答 本市の令和4年度被害調査結果

は、被害面積1.6ヘクタール、被害金額160万9千円、東金市は5.3ヘクタール、372万6千円、山武市は5.3ヘクタール、346万円、茂原市は0.9ヘクタール、15万6千円。

本市の対策は、猟友会への鳥獣駆除委託、箱わな等による捕獲を行っている。東金市、茂原市などは箱わな等のほか、防護柵の設置経費の助成を行い、被害対策に取り組んでいる。

問 近隣市町では、イノシシ等の侵入対策として補助金を出して電気柵などの設置に地域一体で取り組み、成果を上げている。

本市も取り組んではいかがか。

答 近隣市町の事業内容等を参考に研究・検討したい。

設置経費の助成をお願いする。

○入札参加制度について

令和4年に制限付一般競争入札参加資格要件設定基準を改正したが、改正の趣旨と内容について伺いたい。

答 従来、発注金額が600万円以上1,200万円未満の工事は、格付A又はBにある業者の参加を可能としたが、300万円以上1,200万円未満に、競争性と入札参加機会の拡大を図った。

問 改正による効果があったのか。

答 改正前、入札参加業者数が平均3.93者、改正後は平均5.07者で1.14者増加した。また落札率も改正前の91.83パーセントから90.68パーセントに1.15ポイント低下し、競争性が向上した。

問 Aランク業者が参入することによりB、Cランク業者が落札できる可能性が低くなるのではないか。

B、Cランク業者が、工事の実績を積みAランクに昇格する、市内業

者を育成する考えがあるのか。

答 市内業者の育成は、大変重要である。

市内業者の育成に努めていくという事だが、公共工事の発注が抑えられて、市内業者の仕事量が少ないことに原因がある。

早期に財政健全化を図り、生活基盤インフラなどの整備を進めて、市内業者の育成に努めて頂きたい。

○市営ガス事業について

○大網病院について

質問しました。



2024年3月16日ダイヤ改正のあった京葉線快速

関連質問

田辺 正弘 議員



問 市営ガス事業について伺います。私の住んでいる駒込15区(旧国道とJR線路の間)の整備予定について

市街化区域であり、市営ガスを積極的に整備し普及させていくべきではないかと思えます。

答 駒込地区につきましては、現在一部を除き、ガス本管が埋設されていない状況です。当該地域の皆様にご使用していただくためには、ガス工事のお申し込みをいただく必要がございます。

この整備に係る工事の見積金額から、大網白里市ガス事業約款で定める本市の負担額を超える額

につきまして、お客様にご負担いただく事になります。

問 大網病院の現状について、医療スタッフの確保状況と取組状況について。

答 医師の確保につきましては、医療体制を確立し、収益の増減に大きな影響を与える重要な取り組みですが、令和4年度末に退職した2名の内科医の補充人員を確保することができず、継続的な課題となっております。

現在、医療体制の確保に加え、千葉大学病院との連携に加え、千葉県に自治医科大学卒業医師の配置について強く要望するとともに、他の病院との連携につきましても模索するなど、医師の確保に努めております。

問 過去5年の一般会計からの繰入金について医療現場の認識は。

答 国・県からの補助金を財源としたものを除き、令和元年度が5億500万円、令和2年度が4億1千800万円、令和3年度が4億円、令和4年度が4億6000万円であり、令和5年度は、4億8千6000万円の見込みとなっております。

当院といたしましても、繰入金に過度に頼らない病院運営を図るべく、経営改善に向けた収益の確保対策として、新たな施設基準の取得や人間ドックの拡充などに取り組んでまいりました。

問 市民の健康・命を守る市民病院としての今後の役割として、どのような経営方針か。

答 医療収支の改善を図り、安定した医療の提供を図っていく事が喫緊の課題であると認識しております。

特に経営改善の要である医師の確保に努めること、そして、近隣の医療機関や高齢施設との連携を推進し、患者を積極的に受け入れるとともに、患者とご家族の意向を確認しながら入院支援を行っております。

地域に根ざした市民病院として、皆様の疾病予防および健康維持に努めてまいります。

個人質問

物価高対策と市民生活

宮間 文夫 議員



問 持続的賃上げにつながる物価高対策について伺います。政府は2023年11月2日の総合経済対策の物価高対策として、重点支援地方交付金の追加を決定しました。これにより自治体は、特別高圧の受電者や医療・介護・保育施設等に対する物価高騰対策支援を進めることが可能になりました。まずは、労務費の適切な周知を始め、円滑な価格転嫁の環境整備について伺いたいします。

答 令和5年11月29日に内閣官房および公正取引委員会の連名で作成された労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針では、円滑な価格転嫁の環境整備の一環として、各種コストのうち労務費の転嫁に係る価格交渉について、発注者および受注者それぞれが取るべき求められる行動が指針として取りまとめられております。

本指針における原材料価格やエネルギーコストを含め、労務費の適切な価格転嫁による適切な価格設定がなされることは、経済の好循環や安定的な消費者の生活につながることから、発注者、受注者の双方による価格交渉が適切に行われるよう、ホームページ等を活用し、周知に努めてまいります。

問 健康増進課からは市内医療機関への物価高騰対策についてお答えいたします。市の取り組みといたしましては、国の重点支援地方交付金を活用し、令和5年市議会第4回定例会にて関連予算を計上させていたしております。

現在、市内の進捗といたしましては、医療機関等物価高騰対策支援金事業として、市内74の医療機関に対し、総額1,340万円の支給を決定しており、今後、医療機関

への振り込みを予定しております。

また、今後、国では医療機関に対する持続的賃上げにつながる物価高騰対策として、令和6年度診療報酬改定の中、入院患者の食費負担の引き上げを予定しているところです。

答 高齢者支援課からは、市内介護施設等への物価高騰対策についてお答えいたします。エネルギー、食料品価格等の物価高騰の影響を受ける介護施設等を支援するため、令和5年12月補正において各事業所への支援金を予算計上し、令和6年1月に市内110の対象事業所へ案内を通知し、今年度中に支援を交付する予定としております。また、令和6年度からの第9期介護保険事業計画に向けた制度改正により、介護職員への処遇改善や光熱費の基準費用額などに対する介護報酬の改定が予定されているところでございます。

答 子育て支援課からは保育施設を運営する事業者に対する支援状況についてお答えします。エネルギー等の物価高騰対策といたしましては、

去る12月補正予算に計上し、市内の私立の保育施設等に対し園児1人当たり2,400円、私立の学童保育士に対し児童1人当たり800円の支援金を2月中に交付できるよう手続きを進めております。食材費の高騰対策といたしましては、令和5年6月補正予算に計上し、保護者から徴収する給食費の値上げをしないことを条件に、私立の保育施設に対し、園児1人当たり6,000円の支援金を同年9月に交付いたしました。

学校給食やスポーツ施設、医療事務など、自治体が事業者者に業務委託している公契約の金額を見直すことについて等、質問いたしました。

令和6年市議会第1回定例会 採決結果一覧

出席議員の総員が賛成した議案等

議案等番号	件名	結果	議案等番号	件名	結果
議案第2号	令和5年度大網白里市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可	議案第21号	大網白里市都市公園設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可
議案第3号	令和5年度大網白里市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可	議案第22号	大網白里市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可
議案第4号	令和5年度大網白里市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可	議案第24号	大網白里市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可
議案第5号	令和5年度大網白里市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可	議案第25号	大網白里市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可
議案第6号	令和5年度大網白里市ガス事業会計補正予算(第2号)	可	議案第27号	大網白里市土地区画整理事業特別会計条例を廃止する条例の制定について	可
議案第7号	令和5年度大網白里市病院事業会計補正予算(第2号)	可	議案第28号	大網白里市東日本大震災復興基金条例を廃止する条例の制定について	可
議案第8号	令和5年度大網白里市下水道事業会計補正予算(第1号)	可	議案第29号	大網白里市企業版ふるさと納税基金条例の制定について	可
議案第13号	令和6年度大網白里市ガス事業会計予算	可	議案第31号	大網白里市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	可
議案第14号	令和6年度大網白里市病院事業会計予算	可	議案第32号	大網白里市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	可
議案第15号	令和6年度大網白里市下水道事業会計予算	可	議案第33号	財産の取得について	可
議案第17号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	請願第2号	瑞穂12区内市道の整備に関する請願	採
議案第18号	大網白里市ガス事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	請願第3号	豪雨等被災者に対する水道使用料減免を求める請願	採
議案第19号	大網白里市監査委員に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可	陳情第1号	大網白里市内に幼保連携型認定こども園を増やす陳情	採
議案第20号	大網白里市企業等誘致条例の一部を改正する条例の制定について	可			

議会運営委員会に付託された陳情第6号「自治体の重要な政治的意思決定に関与し、広範な裁量権を持っている市議会議員と関わりのある企業が、本市の公共事業を受注する事を制限するための条例である、政治倫理条例を制定してもらうための陳情」については、継続審査となりました。

賛否が分かれた議案等

※結果欄の意味は次のとおりです。「○」=賛成 「×」=反対 「欠」=欠席 「可」=可決 「同」=同意 「否」=否決 「採」=採択 「不」=不採択 「棄」=棄権 「承」=承認 「認」=認定 「適」=適任と認める ※小金井 勉議員は議長であり、採決に加わりません。

議案等番号	件名	結果	齊藤 完育	金森 浩二	高野 祐二	輪島 美津江	猪崎 紀人	土屋 忠和	引間 真理子	上代 和利	森 建二	小倉 利昭	小金井 勉	佐久間 久良	北田 宏彦	石渡 登志男	田辺 正弘	宮間 文夫	黒須 俊隆	岡田 憲二	賛成	
議案第1号	令和5年度大網白里市一般会計補正予算(第8号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15
議案第9号	令和6年度大網白里市一般会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15
議案第10号	令和6年度大網白里市国民健康保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
議案第11号	令和6年度大網白里市後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
議案第12号	令和6年度大網白里市介護保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
議案第16号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
議案第23号	大網白里市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
議案第26号	大網白里市個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
議案第30号	大網白里市学童保育室の設置及び管理に関する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15
請願第1号	アスベスト建材製造企業の基金拠出等「特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める国への意見書を求める請願	採	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
請願第4号	豪雨による減災対策を求める請願	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	3	
令和5年陳情第10号	市長や副市長、教育長等、自治体の重要な政治的意思決定に関与し、広範な裁量権を持っている役職の者等と関わりのある企業が、本市の公共事業を受注する事を制限するための条例である、政治倫理条例を制定してもらうための陳情	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	2	
陳情第2号	学校給食に、地元産で安全な農産物の使用と保護者負担の軽減を求める陳情	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	×	5	
陳情第3号	「陳情書」郵送提出分対応方法の変更に関する陳情	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	2	
陳情第4号	J R永田駅下り改札口設置についての陳情	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	2	
陳情第5号	ケーヨーデイツー大網永田店環状交差点設置についての陳情	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	2	
陳情第7号	市民の生活を守るために、道の駅を造る事を中止してもらうための陳情	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	2	
発議案第1号	「特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める意見書の提出について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16

令和6年市議会第2回定例会会期日程(案)

開催日	開始時間	摘要
5/31(金)	10:00	第2回定例会 開会 ・行政事務報告、議案上程ほか
6/ 5(水)	10:00	一般質問
6/ 6(木)	10:00	一般質問
6/ 7(金)	10:00	一般質問
6/13(木)	10:00 13:00	議案質疑・委員会付託 総務常任委員会
6/14(金)	10:00 13:30	文教福祉常任委員会 産業建設常任委員会
6/21(金)	10:00	第2回定例会 閉会 ・委員会審査報告、採決ほか

※上記はあくまでも予定であり、変更となることもあります。
※第2回定例会で審査される請願・陳情は、5月23日(木)午後5時まで受け付けます。

【正】											【誤】										
議案番号	結果	金森 浩二	高野 祐二	輪島 美津江	石渡 登志男	田辺 正弘	宮間 文夫	賛成	議案番号	結果	金森 浩二	輪島 美津江	北田 宏彦	田辺 正弘	石渡 登志男	宮間 文夫	賛成				
議案第12号	可	○	○	○	○	○	○	15	議案第12号	可	○	○	○	○	○	○	○	15			
陳情第11号	不	×	×	×	×	○	4	陳情第11号	不	×	×	×	×	○	○	○	○	4			
陳情第12号	不	×	×	×	×	×	0	陳情第12号	不	×	×	×	×	×	×	×	×	0			

お詫びと訂正

議会だより第188号(令和6年1月未発行)の8面の「賛否が分かれた議案等」の表中に一部掲載誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

市議会から義援金を送りました

令和6年能登半島地震で被災された方々の生活再建を始め1日も早い当該地域の復興・復興に活用していただくため、市議会議員一同は、平成28年に行政視察に伺いご縁のあった石川県珠洲市および輪島市それぞれの市に対して、3月18日付けで9万円ずつ義援金を送ることをいたしました。当市議会では、能登地方およびその周辺地域がこれまで以上の賑わいを取り戻されることを祈念いたしております。

議会日誌

令和6年(2月)

- 13日 議会運営委員会、全員協議会
- 20日 市議会第1回定例会 開会
- 26日 一般質問 3会派9人
- 27日 一般質問 1会派2人、個人4人

令和6年(3月)

- 4日 議案質疑・委員会付託
- 5日 議会運営委員会、総務常任委員会
- 6日 文教福祉常任委員会
- 7日 産業建設常任委員会
- 7日・8日・11日 予算特別委員会
- 19日 議会運営委員会、全員協議会
- 4日 議会だより編集委員会

議会だより編集委員会

委員長 田辺 正弘
委員 高野 祐二
委員 輪島 美津江
委員 猪崎 紀人

議会事務局 Tel (70) 0390

9月、12月 定例会を開きます。
議会だよりでは、各定例会の審議内容や一般質問の内容等をお知らせしていますが、紙面の都合上、すべてを掲載することができません。本会議の内容をご覧になりたい方は、市役所本庁舎1階行政情報コーナーまたは図書室(保健文化センター2階、中部コミュニティセンター、白里公民館)で会議録をご確認ください。

編集後記

ご覧いただきました皆様、当市議会への日頃からのご支援・ご協力、心より感謝申し上げます。
議会だより編集委員会副委員長を務めます金森浩二と申します。
第一回定例会が終了し、今年度の予算が審議可決された事がこれからの大網白里市にとって素晴らしい一歩になることを期待しております。
議会での答弁を振り返ると、市執行部側の情報発信がまだまだ不足しているのではないかと再認識する場面が見受けられました。
その情報発信の一翼を担う議会だよりを充実させ、より皆様の元へ多くの情報をお届けできますよう、今後も編集作業を意欲してまいります。不慣れな点が多々ありますことを承知の上で尽力してまいりますので、よろしく願います。
金森浩二